

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320274	(1, 2 年)X-21-A-2-320274/ (3, 4 年)X-21-B-2-320274	1	後期	【1・2 年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1 年	
授業科目				担当教員	【3 年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	3 年
英文講読 2				小山田 紀子	【3 年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	3 年
					【1-3 年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3 年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4 年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
			【4 年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

この授業では以下の2つのテーマについての英文を読み、英語の読解力を高めるとともに、テーマの内容について考える契機としたい。第1は日本現代史、特に戦後70年の今日、あらためて日本の戦後の歴史をGHQの政策と戦後復興、日本国憲法の成立について映像資料も交えて考える。第2は、激動の中東情勢を知る手がかりとして、「アラブの春」の先駆けとなったチュニジアのジャスミン革命について英文で学ぶ。映像も交えて内容の理解を深める方法で進めたい。

授業の各回において予習・復習で4時間程度を要する。

各回の授業内容

<p>第1回</p> <p>【授】 イントロダクション—テーマについての説明と授業の進め方について</p> <p>【前・後】 配布したプリントの次回の予習をする。日本語の参考文献も読んでおくことよい。</p> <p>第2回</p> <p>【授】 日本の戦後史①—映像を見てその歴史の概要を把握する。英文資料を配布する。</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第3回</p> <p>【授】 日本の戦後史②配布資料を授業内で読み進める。1945年の日本、ポツダム宣言</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第4回</p> <p>【授】 日本の戦後史③ " 軍国主義の排除</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第5回</p> <p>【授】 日本の戦後史④ " 民主化と日本国憲法</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第6回</p> <p>【授】 日本の戦後史⑤ " 復興への道のりと高度経済成長</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第7回</p> <p>【授】 日本の外国人労働者の概要</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第8回</p> <p>【授】 日本に住むムスリムの生活と文化①日本のモスクの映像を見る</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p>	<p>第9回</p> <p>【授】 日本に住むムスリムの生活と文化②</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第10回</p> <p>【授】 日本に住むムスリムの生活と文化③</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第11回</p> <p>【授】 チュニジア・ジャスミン革命—映像を見る</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第12回</p> <p>【授】 チュニジアという国の歴史</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第13回</p> <p>【授】 チュニジア・ジャスミン革命—原因と経過</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第14回</p> <p>【授】 チュニジア・ジャスミン革命—その後</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第15回</p> <p>【授】 チュニジアの民主化のゆくえと中東情勢</p> <p>【前・後】 授業中学習したテキストを読み返しておく。次回の予習をする。</p> <p>第16回</p> <p>【授】 定期試験</p>
---	--

成績評価方法

期末試験の点数（60%）と授業中の発表の点数（40%）を総合的に評価する。後日、ポータルサイトより全体の講評を行う。

教科書・参考書

第1回の授業の時に、テーマに関するプリントをテキストとして配布する。

受講に当たっての留意事項

毎回、授業の準備として英文の日本語訳を準備してくる。授業後は復習をして、テーマに関する英語の語彙力も身につけ、内容についても理解するようにノートを整理する。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

英文の講読を通じて、日本という国や異文化理解、国際問題についての知識を深める。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習